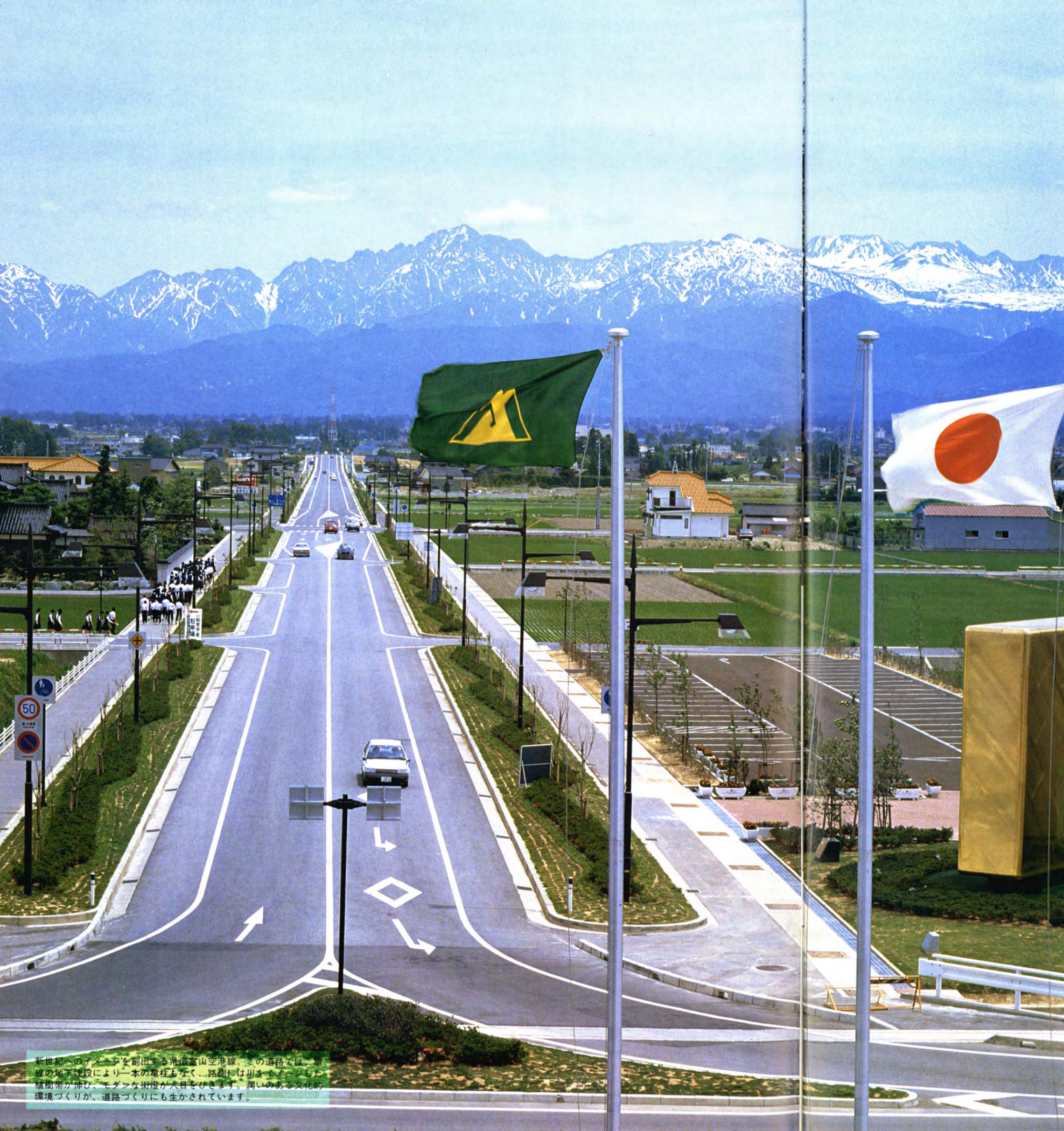


とやま ひらく 未来、ふるさとの 新世紀

富山空港



新世紀へのイメージを創出する県道富山空港線。この道路では、地盤の地下埋設により一本の電柱もなく、路側には目をイメージした植樹帯が伸び、モダンな街並みが見えます。潤いのある文化的環境づくりが、道路づくりにも生かされています。



ごあいさつ

ことは、やがて到来する21世紀への助走の年代ともいふべき60年代の幕開けの年です。

昭和60年代は「激動と混迷の時代」といわれます。私達をとりまく環境はきわめて厳しいのでありますが、「地方の時代」は「地方の知恵と行動力の競争の時代」との認識に立ち、21世紀を展望しつつ、富山県の新しい世紀にふさわしい県づくりを進めていかなければなりません。

このため私は、活力にあふれ、温かい心に満ちた美しいふるさとづくりをめざした「県民総合計画」を基本として、「明日を拓く人づくり」、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」の三大政策を着実に推進していくとともに、21世紀をめざした日本一の「健康・スポーツ県」「花と緑の県」「科学・文化の県」の三大目標に挑戦し、全国に誇り得る素晴らしい富山県を築いてまいりたいと思います。

また、県民に開かれた県民本位の県政、先見性に満ちた計画県政を県政運営の基本として、県づくりを着実に進めてまいります。

この小冊子は、県政の一端を写真と若干の解説によってご紹介するものですが、県民のみなさまの積極的な県政参加の一助になればまことに幸いに存じます。

昭和60年4月

富山県知事 中 沖 豊

活力にあふれ、発展する富山。温かい心に満ちた美しいふるさと。

日本一のふるさとづくり。21世紀への3つの挑戦。

心から生きがいを感じることもできる、
活力と温かい心に満ちた美しいふるさと富山県をめざし、
県民すべてが手をつなぎ、21世紀に向かって、三つの日本一に挑戦しましょう。



●日本一の健康・スポーツ県

いま、よちよち歩きの赤ちゃんが大人になる頃には、もう21世紀が始まっています。平均寿命もさらに伸び、ひいおじいさん、ひいおばあさんと一緒に暮らす4世代同居の家族もめずらしくないでしょう。それもそのはず、健康づくりや社会福祉の充実のための施策などがどんどん実施され、成人病などもグリーンと減っているでしょうから。

また、スポーツもますます盛んで、小さな子供からお年寄りまで、誰もがスポーツを愛好し、一年中さわやかな汗を流す暮らしが定着しているでしょう。どの街にも、スポーツ公園や競技場があって、家族やグループでいっぱいです。さらに、スポーツ人口の増加にともなって、競技水準も高まり、全国大会で優勝するチームも多くなるでしょう。



●日本一の科学・文化県

学問や芸術を愛する心が大切に育てられ、21世紀には、創造性を育む気風が伝統となり、多くの県民が科学や技術に親しみ、多様な文化活動に参加しているでしょう。学校、各種試験研究施設、社会教育施設などで、さまざまな個性や才能が開花しています。そして、地域に根づいた伝統芸能や伝統工芸もしっかり伝承されています。

また、産・学・住一体の富山テクノポリスの建設によって高い技術力に支えられた付加価値の高い製品を提供する新産業が、めざましい発展を遂げています。高速交通体系、高度な情報ネットワークなど、科学や文化を発展させる基盤が整い、富山県は、芸術・文化・経済の一大中心地となっていることでしょう。

●日本一の花と緑の県

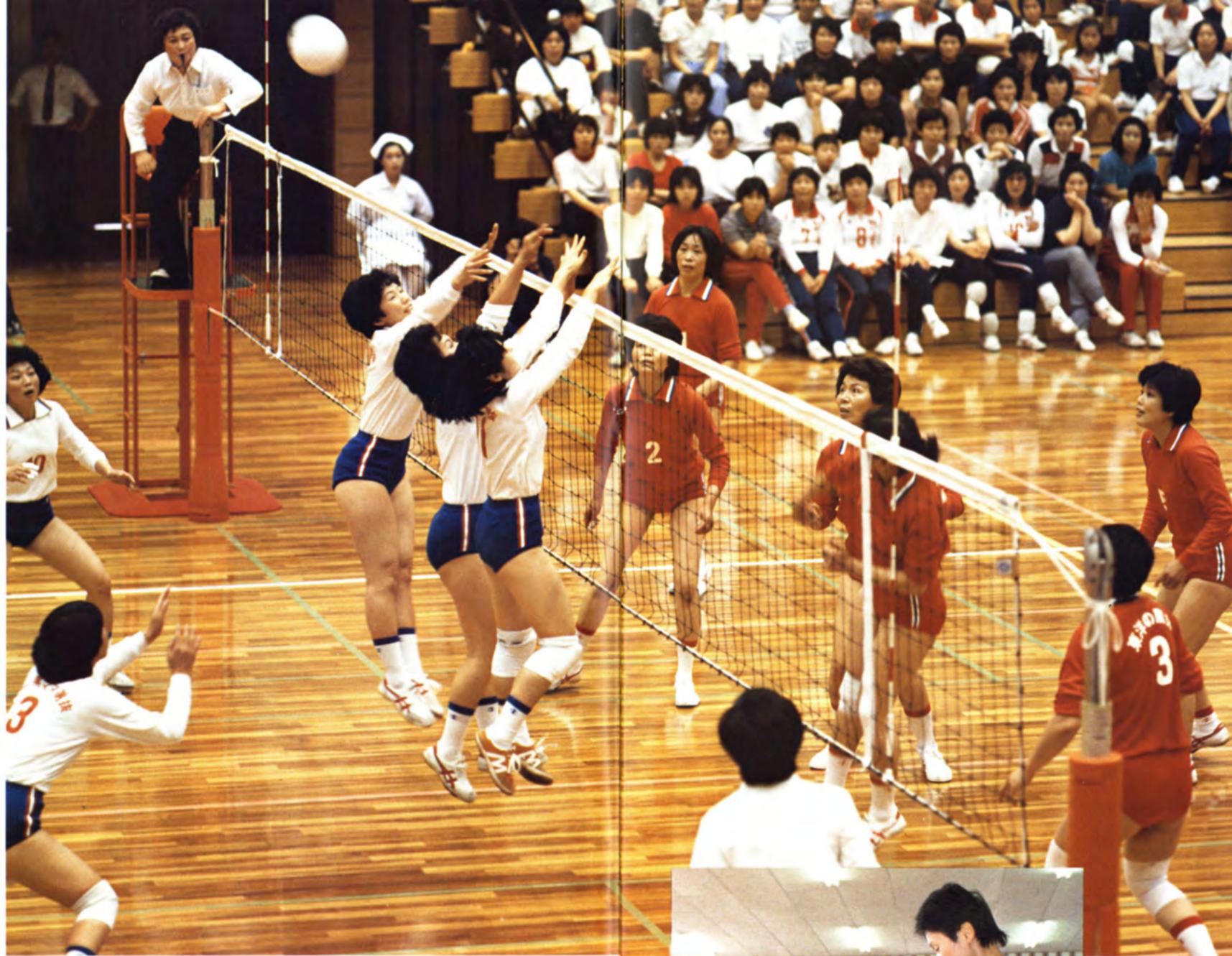
美しい自然に恵まれた21世紀の私たちのふるさとでは、多くの県民が、花と緑の生活環境づくりや県土美化運動に積極的に参加し、緑化・美化人口とも全国一を誇っているでしょう。都市公園や緑のレクリエーションの施設が整備され、植物園や桜の園は行楽の名所になっているでしょう。

また、自然保護が行き届き、虫や魚や森の動物たちの生命が大切にされているでしょう。よく手入れされた森林は、緑のダムとなって、災害を未然に防ぎ、豊かな山の幸を届けてくれます。花の球根、苗木、新鮮なくだものなどが全国に送られ、「みどりの富山」「花の富山」のイメージが、広く知れわたっていることでしょう。



明日を 拓く 人づくり

活力と温かい心に満ちた富山県は、
心身ともに健康で
創造性に富んだ
思いやりのある豊かな心をもった
県民によって築かれます。



健康づくり

健康は、豊かに生きるための源です。「自分の健康は自分でつくる」という自覚に支えられた健康づくりを実践しましょう。

県では、スポーツ・レクリエーション振興のため生涯スポーツプランをまとめ、健康づくりが日常生活習慣として定着するよう施設の整備に努めています。総合体育センターの温水プールのオープンほか、有峰ふるさと自然公園国民休養地、県民公園太閤山ランド、常願寺川公園、五福公園などの整備を進めます。

疾病予防対策として、胃がん・肺がん検診を充実するなどがん対策を強化するとともに、高志リハビリテーション病院の増床や県立中央病院改築の検討など医療供給体制の整備充実に努めます。

さわやかな汗が、夢を大きく育ててくれる。

人づくりの要は、県民の健康づくり。日本の健康とスポーツ県を象徴する総合体育センターでは、今日も歓声がとび、熱い汗が流れます。



県民の身近なスポーツ・レクリエーション基地、常願寺川公園。



自分の健康づくりは、自らの手で。



子供から大人までを対象に、一貫したリハビリテーション施設、「高志リハビリテーション病院」。



地域ぐるみの活動が明るい社会をつくります。障害児の自立する芽を育む「愛のびのび合宿」。

語りかけ、ふれあうと、心があたたかくなる。

社会福祉の充実



お年寄りも積極的に参加、生きがいこそ心の健康です。

県民だれもが不安のない、幸せな生活を送るには、家庭・地域社会・施設の三者が一体となった地域総合福祉体制を整えることが大切です。

このため、新たにボランティア・カレッジを開設するなどボランティア活動の一層の振興、在宅のねたきり老人家庭などへのねぎらい事業の実施や痴呆性老人対策など老人福祉の充実を図ります。また、障害のある方々に対する施策や、児童・母子の福祉の充実を積極的に進めます。

生涯学習の推進



県民の文化活動の拠点として建設中の県民センター(仮称)(完成図)

明日の富山県を担い21世紀を切り拓いていくのは、広い視野と進取の気性、豊かな人間性をもった一人ひとりの県民です。

県民大学校に郷土を学ぶ講座や情報教育に関する講座を開設するなど、生涯学習の場と機会の拡充に努めます。高校生の急増に対応するため新設高校の整備を進めるほか、情報化社会に対応したコンピュータ教育を推進します。

また、私学の振興を図るとともに、社会教育の推進のために、県民の文化活動の拠点として、県民センターの建設を進めるほか、県民会館についても文化施設として一層充実させます。



情報化社会に対応する県情報教育センター。県民ルームでは、パソコンやワープロに主婦も挑戦。

知りたい気持ちを、いつまでも大切にしていきたい。

誰もが、自分を表現する ステージをもっている。

文化の県づくり

心のやすらぎや潤いを求める文化活動への期待がますます強まっています。このような期待に応えるため、地域に根ざした水準の高い文化の創造を図ります。

県立近代美術館での「第1回世界ボスター・トリエンナーレトヤマ'85」企画展や国際青年年を記念する富山国際高校芸術祭、シンポジウムを開催します。

さらに、未来を指向する博物館の基本構想の策定を進めます。

世界各国が参加し観衆を魅了した利賀フェスティバル'84。日本一の文化県づくりへの助走はもう始まっています。



若いエネルギーが大きな推進力となって明日の富山を築きます。

ひたむきな眼差しは、明日を見つめる。

若者と婦人の力を社会に

明日の富山県を築くのは、郷土を愛し、活力に満ちた若者です。多くの若者が、心身ともにたくましく成長し、若い力を社会のために大いに発揮することができるよう、家庭・学校・地域社会が一体となった青少年健全育成運動を進めます。ことに、本年は国際青年年でありその記念事業などの推進を図ります。

また、青年・高校生の海外派遣など青少年の国際的視野を広めることに力を注いでいきます。

婦人施策では、婦人の潜在エネルギーを発揮できる条件整備を図ることをはじめ、本年は「国連婦人の10年」の最終年であり、婦人問題推進地域会議の開催などにより婦人問題への理解と関心を高め、婦人の地位向上に努めます。

魅力ある 郷土 づくり

温かい家庭と
心ふれあう地域社会、
快適で美しい郷土は、
私たちの暮らしの基盤です。



暮らしやすさを、
身近なところから考えてみる。

心ふれあう快適な暮らしの実現



花と緑は、道行く人の心を和ませてくれます。

心ふれあう快適な暮らしは、ゆとりと温かい家庭から生まれます。消費生活の安定向上を図るため、消費スクールの開設など消費生活センターの充実を図ります。

また、総合的なグリーンプランを基にコミュニティ花壇の造成やフラワーラインの整備など県民総ぐるみの運動を展開し、日本一の花と緑の県づくりをめざします。さらに本年は国際森林年にあたることから、木に親しみ育てる心が定着するよう「第1回富山県樹祭」を開催します。



富山県消費生活センターでは、2台のおしゃべりテレビロボットがかけ合いで、買物時の注意事項を教えてくれるなど、施設・機能が大幅に拡充され県民に親しまれています。

魅力ある地域づくり

助けあい、支えあつて、
のびやかな環境が守られる。

生活水準の向上と潤いのある豊かな生活空間が求められるなかで、美しい自然に恵まれた豊かな県土は県民の誇りです。個性ある魅力的なまちづくりや農村の生活環境の改善、山村過疎地域の振興に努めるとともに、雪に強い県づくりを進めます。

このため、基本となる富山県総合雪対策条例により無雪害まちづくり事業の拡充、地域ぐるみ除排雪の支援、健康づくりや観光資源に雪を利用する新たなイベントの取り組みなど、施策の総合的な展開を図っていきます。



美しい自然に恵まれた豊かな県土は、私たちみんなの誇りです。

雪に強い県づくりを進めるため、地域ぐるみの除排雪が進みます。



恵まれた自然を守り育てるには、まず理解することから始まります。ナチュラルリストの地道な活動が豊かな自然を保護します。

自然と人間のバランスがとれた、美しいふるさと。

生活基盤の充実

快適な生活を営むためには、住宅や上・下水道など、生活基盤の整備と充実が必要です。

住みよい家づくり事業を推進するほか、新たに雪に強い住宅づくりの設計モデル集を作成し、安全で快適な住宅の普及に努めます。

また、小矢部川流域下水道の整備については、引き続き建設の促進を図ります。

さらに、自然環境の保全についても、立山室堂地区を中心とした植生復元事業の推進を図るとともに、黒部峡谷の樺平にビジターセンターを建設するなど、優れた自然の計画的な保全に努めていきます。さらに県土保全対策により安全で快適な県土づくりを進めます。



安全で快適な雪に強い住宅づくりの研究が進んでいます。(月岡グリーンタウン)



人・物・情報の活発な交流に大きく貢献している富山空港。



朝日・上越間の着工をめざす北陸自動車道。

人が情報が集まる。 会いたい人が近くなる。

総合交通体系の整備

県民の生活領域を広げ、経済・社会・文化の発展をもたらす交通網の整備は、必要不可欠です。北陸新幹線の建設については、国の予算において本年8月を目標に着工することが決定され、事業の実施方式などについて調整が進められます。

また、富山空港の施設の一層の充実を図り、就航率の向上に努めるほか、北陸自動車道については、残る朝日・上越間の建設促進に努めます。さらに、雪に強い道路整備の促進など総合的な道路交通網の整備を進めます。



着工が決定した北陸新幹線。日帰り圏の拡大が待たれます。(写真は上越新幹線)。



永遠の友好と平和に向けて、59年5月9日に中華人民共和国遼寧省と富山県の間で友好県省が締結され、スポーツなどの各分野で交流事業を実施し友好親善に努めています。

言葉より先に、
輝く瞳があいさつをかわす。

国際化時代への対応

交通・通信網の発達、世界各国間の交流をますます活発なものとしています。このような国際化時代に対応するためには、広い視野を持った人材の育成や、人・物・情報の交流の促進に取り組む必要があります。

このため、経済・文化・スポーツなどの各分野の交流をはじめ、友好県省締結一周年を記念して中国遼寧省への日中友好富山県民の翼の派遣や、青年・婦人の海外派遣事業も積極的に進めます。



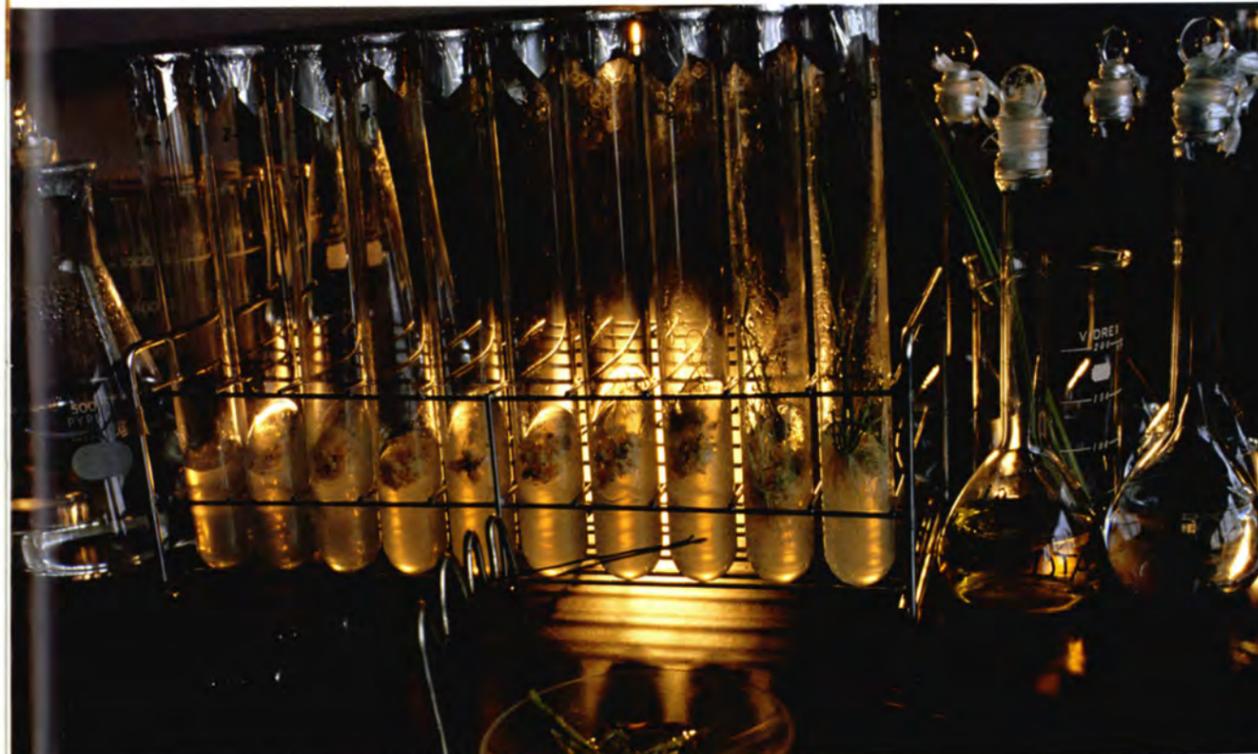
国際的視野を持つ青少年を育てようと、県内高等学校などの生徒を対象に海外派遣事業を実施しています。ホームステイでクリスマスプレゼントを交換している団員。

活力ある 産業 づくり

活力ある産業は
県民の働く場を維持・創出するとともに、
県民所得の向上をもたらし、
安定した豊かな県民生活を
実現するものであり、
高齢化社会における福祉の充実や
地域文化の形成を支えていくものです。



新素材、メカトロニクス及びコンピューター利用などの研究開発を行う工業技術センターの建設が進んでいます。



バイオテクノロジー研究部門の新設など充実した農業試験場。

技術立県をめざして



科学技術は、経済社会を発展させる原動力です。技術立県をめざす本県では、科学技術に親しむ風土の醸成を通じて、創造性豊かな人材を育てるとともに、技術革新の動向に積極的に対応できる環境条件の整備が緊要です。

このため、試験研究機関での共同研究の推進、特別指導者招へい制度、技術開発留学制度の活用などにより、試験研究の充実を図ります。また、大学などの研究施設の誘致を進め、高次研究機能の集積を図るとともに、工業技術センターの建設など試験研究機関の拡充にも努めます。

恵まれた自然と豊かな知恵によって育まれた味と香り、みがかれた技と伝統により培われた工芸品、工業製品などを本県の代表する特産物に育てようと、日本一の「特産王国づくり」をめざしています。

科学の目を大きく開くと、新世紀が見えてくる。

地域の特長を生かして、ふるさとは、特産王国。

農林水産の振興



富山県農業の進むべき基本的方向は、気候・風土の特性を生かし、米作を基幹として地域性豊かな生産性の高い農業を展開することにあります。

良質米生産県としての地位を一層高めるため、新たに、地域ぐるみの深耕を中心とする土づくり運動を展開するなど、うまい米づくりの諸施策を推進します。他用途利用米についても、秩序ある生産と効率的な取り組みを進めます。

畜産では、肉用牛改良増殖センターや畜産団地の建設を進め、林業については、新たに木材産業の市場競争力を高めるための措置を講じます。さらに水産業については、公社栽培漁業センターの建設を進めるほか、つくり育てる漁業を推進します。

バイオテクノロジーを活用した稲、チューリップなどの新品種の育成、家畜・魚類の改良増殖など幅広い分野での試験研究に取り組みます。

また、特産物の振興と普及を図るため「特産王国づくり」を一層推進します。



「特産王国づくり」の産物として指定されている「かのこゆり」。



バイオテクノロジーで乳牛から2頭の和牛が誕生し、畜産振興に明るい未来を拓きました。



産業界では先端技術を導入し、技術立県をめざして新製品づくりに専念しています。

工業の振興



昨年3月、テクノポリスの開発計画の承認を受けて以来、産・学・官連携システムの拡充、テクノポリス地域開発促進資金の創設など幅広い施策を実施しています。

また、富山八尾中核工業団地など県内各地への企業立地を図る一方、中小企業の経営の安定と体質強化や、地場産業の総合的な振興に努めます。

本年10月に開所する薬事研究所についても、和漢薬、バイオテクノロジーなど新分野の研究に取り組みます。



富山テクノポリス建設に向けて、優良企業の立地が進んでいる八尾中核工業団地。

最先端の技術を集めた
世界都市、富山テクノポリス。

自分の能力を生かせるから、やりがいがある。

雇用の安定

最近の雇用情勢は、新規求人については、増加傾向に転じてきていますが、中高年齢者をとりまく環境は、依然として厳しい状況にあります。

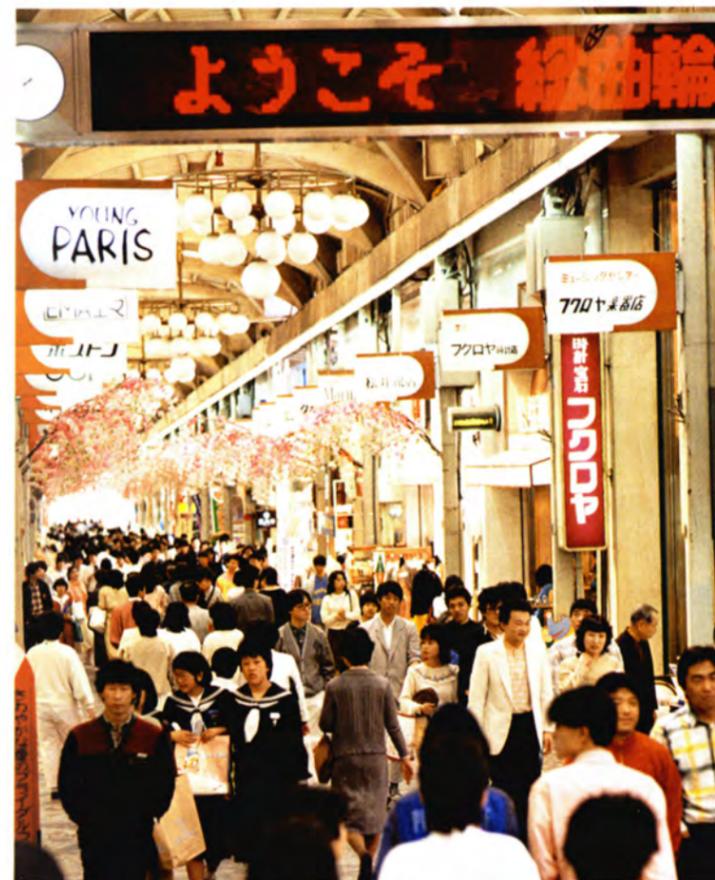
このため高年齢者特別求人開拓員の配置などにより、離職者の再就職の促進と雇用の安定に努めます。

さらに、近年の技術革新、設備の高度化に対応するため、メカトロニクス関連科目の充実に努めるとともに、中高年齢者、婦人向け訓練科目の拡充を図っていきます。

技術革新、産業構造の変化に対応して、高度な技能、新しい知識を身につけています。



「いい人、いい味、いざい富山」をキャッチフレーズにキャンペーンも大々的に行われ、「観光とやま」のイメージが大きな成果をあげています。



商店街機能の高度化・活性化を進めていきます。

第三次産業の振興

知らせたい「いざい富山」の魅力、いろいろ。

第三次産業の振興を図るには、消費者ニーズを的確に把握し、企業の体質を強化することが必要です。

その振興策として、新たに商店街活性化モデル事業としてコミュニティマーケット構想を策定するほか、引き続き、商店街のリーダー育成など商店街機能の高度化・活性化を進めていきます。

また、雄大な自然景観や新鮮な味覚など、多様で質の高い観光資源を生かしながら引き続き「いざい富山観光キャンペーン」を実施し「観光とやま」のイメージアップを図ります。

また、内外の見本市に積極的に参加し、県産品の販路拡大に努めます。



富山の空の玄関口、富山空港にふさわしいシンボルとして輝くモニュメント。テーマは「大空を拓く」。ははたく富山県をイメージしています。金・銀一対の立体は万物の存在の基本を意味し、宇宙時代の到来と人類の大空への飛躍を象徴しています。この立体は1時間に1回転しており、周囲の風景を映して四季を通じて変動極まりない効果を生みだしています。